

# くろつち便り

今月の内容

共助会グラウンドゴルフ大会(2/21) / ストップ川内原発! 3.7かごしまアクション / あれから10年一金曜集会(3/5) / 野草折々-41-(闘病記)微苦笑/他



↑会報QRコード

## 熱闘!、21日 共助会GG大会

1週間延期された大会、絶好のGG日和になりました。

**飯山大会委員長**



コロナの危険を冒して参加、ありがとうございます。今日は怪我しないように、コロナにかからないように・・・

**鬼ヶ原地区運営委員長**

学校現場は、昔からすると様変わりしています。だからこそ、年一回のGG大会を楽しみたいです。



**桐原審判長**



みんなマスクして判別できないのが残念です。みんなが楽しくプレーできて、気持ちよく帰れるようにできたらいいです。

40名が10組に分かれて競いました。中には、スティックの表と裏、どちら側で打つのかよく分からない初心者もいるし、延期になったのをうっか



表彰式(5位まで豪華?賞品)

囲気の中、行われませんでした。

試合開始の笛が鳴ったばかりなのに、もうホールインワンの声が聞こえます。最初の1打からすごいです。

熱闘!熱闘!

ホールインワンが全部で何と14回。副賞、缶ビール。参加賞は、お茶や海苔、お菓子などでした。

結果は次の通りでした。

結果(敬称略)

- 1位 住吉 務 37打
- 2位 桐原好昭 39打
- 3位 山口正徳 40打
- 4位 森 幸子 41打
- 5位 古川浩二 42打

ホールインワン賞

- 2回 山口正徳、桐原好昭、住吉務
- 1回 山口伸也、神田昌信 古川浩二  
山ヶ城芳子、木下次男、内俊朗  
中馬美樹郎、野下八千代、

BB賞 鬼ヶ原健一

**市之瀬実行委員の閉会の挨拶**

ホールインワンが多く、なかなかレベルの高い大会でした。来年度も夏の講演会などいろんな行事があります。



実行委員の皆さん、ご苦労様!

## 川内原発20年延長反対

老朽・ポンコツ原発さよなら! 40年で廃炉、60年運転、絶対反対!

3月7日 最近では珍しく冷たい小雨の降るあいにくの天候でしたが、鹿児島天文館

公園で開催された「ストップ川内原発3.7かごしまアクション」に参加しました。コロナ禍のもとではありましたが、主催者発表で450人の参加者あり。各地活動家らの発表に次いで松下も3分間、鹿屋での活動や原発への思いを急ぎ語り、「原発は子や孫に残さないぞ」と叫んで終わりました。

(報告 松下徳二)

## ごてれつの独り言

(ごてれつ—ぶつくさ言う人)

◆南日本新聞へ**九条を守るための意見広告**、正念場。千円です。

◆1月、厚労省は公的年金を前年比0.1%減額すると発表。コロナ禍で大変な人も多いというのに、なんとまあ。

◆宮城県も原発事故で大打撃を受けたはずだが、11月女川原発2号機の再稼働に同意したという。住民の7割が反対なのに。

◆新しいアイロンが届いた。古いのが調子が悪いから注文したというのに、前ののが完全に使えなくなるまで新しいのは保管しておこう、という妻。なんと貧乏性。これぞ庶民!



2021/03/07 13:48



# あれから10年

あの原発事故から10年です。津波が原発を襲った時刻、僕は春日町の教育文化研究所にいて、原発は大丈夫だろうか、こりゃ大変だ、とやきもきしていたのを覚えています。

3月5日17時、金曜集会。10年目ということで、いつもより幾分か多い20数名の仲間がイベント広場に集まりました。

驚いたことに、ご高齢の上山兄



信号が赤の時、こちらをチラと見て会釈する運転手もいました。(僕の記憶にない顔ですので、この日集まった誰かの知り合いだったのかなあ)

金曜集会はこれからも続きます。次回は

**4月2日17時30分～**

**夏場は時間が遅くなります。**



弟も姿を見せてくださいました。頭が下がります。

みんなでシュプレヒコールです。

## 闘病記1 微苦笑

手術当日、この日の僕の担当、中堅の若い看護師のK嬢に、「今日は、頑張ってくださいね、おじさん。」

と言われた。看護師嬢は患者である僕をいたわってくれたのだが、僕は「うん？」と一瞬戸惑った。これまで子ども達からならいざ知らず、立派な成人から「おじさん」などと呼ばれたことは皆無だったからだ。

「そうだよな。自分はそんな年齢なんだよな。」

若き大学生の頃のことを思い出した。居酒屋で、隣に座っていた中年過ぎの男性に「おじさ

ん」と語りかけた。微苦笑(微笑とも苦笑ともつかない笑い)というのは久米正雄の造語だそうだが、その中年男の表情はまさしく微苦笑そのものであった。「そうか、おじさんと呼ばれるような年齢だよな」

と呟かれたのを聞いて、ああ、失礼なことをやってしまったなああと後悔したものだ。

今の自分は、当時のその方よりもだいぶ年を食っているので「お爺さん」と呼ばれても可笑しくない年だ。そう呼ばれなかっただけでもよしとするか。

恐らくその時の僕の表情は、あの時の中年男と同じような微苦笑だったに相違ない。(看護師嬢は「お爺さん」と言ったんだけど、僕の耳には「おじさん」

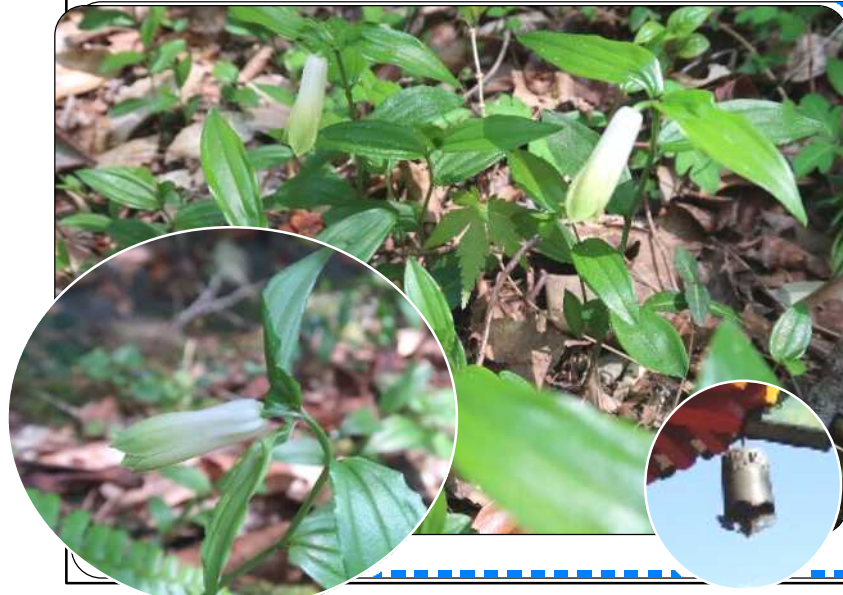
と聞こえただけかも知れないが。)

若干血圧や尿酸値が高いだろうが、これは自身が飲兵衛であることの勲章だ。自分はまだまだ健康体だと思っけていても、若者にいたわりの言葉をかけてもらうような年齢になっていたということだ。

気づかぬ内にカテーテル治療(手術)せねばならぬ体になっていた。体の変調にどうやって



気づいたかなどの経緯は、同じぐらいの年齢の方々には参考になるだろうと思うので、次号に筆を進めたい。(文責 榎園哲思)



## 野草折々-41-

飯山春男さん紹介の身近な植物シリーズ。今回は、

### ホウチャクソウ (ユリ科)

森の中ややぶかげなど日陰に生える多年草。お寺の軒先に吊るされた鐘に似ていることから宝鐸草と名付けられた。

2019年4月20日 野首岳